

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	教育委員会	濱原 貴宏

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	【基本目標】 「未来を拓く人を育むまち」の実現に向け、学校・保護者・地域の協力のもと、子どもたちの個性や能力に応じた教育と安全な環境整備を推進するとともに、市民が生涯にわたり自己実現を追求できる多様な学びの場を提供する。
2	【連携】 市長部局や関係機関等の共創パートナーと連携を図りながら、将来を見据えた多様な視点から施策を展開する。
3	【スケジュール管理】 全職員が組織の目標や取組の必要性を理解、共有し、常に先のスケジュールを見据え、組織全体で目標達成に取り組む。
4	【業務改善】 前例にとらわれることなく、職員一人ひとりが常に改革意識とチャレンジ意識をもって業務に取り組む。
5	【働き方改革】 しっかりと働き、しっかりとプライベートを楽しむワークライフバランスの取れた職場環境づくりに努める。
人財育成・内部統制	【人財育成】 職員が専門知識とスキルを習得できるようOJTの取組を強化する。 【内部統制】 一人ひとりが職務に対する危機管理意識を高め、組織として、問題予防策を共有し、業務遂行（起案・決裁等）の精度を高め、品質を向上させる。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	教育総務課	大石 宗孝

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

・『第2期宇部市教育基本計画』の基本理念である『「自立」と「共存同栄」宇部を愛し、未来を拓くひとづくり』を実現するために、教育委員会事務局内の総合調整を図り、子どもたちが安心・安全に過ごせる質の高い教育環境を実現する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	小学校入学から中学校卒業までの9年間を見通した「つながりのある教育」を提供することにより、子どもたちに最適な教育環境を確保する	個別計画 (小中学校適正規模・適正配置計画)	計画の推進	学校の適正規模・適正配置の実現 (R15年度)	計画の策定及び地元説明会の開催	3中学校区の地域協議会で協議・調整	未来3
2	子どもたちが安心して学ぶための支援事業の充実	その他	他施策と連動する支援の見直し(事業数)	各種支援事業の充実	—	2事業	—
人財育成・内部統制	【人財】個々のスキルを課全体で共有し、日々の業務に活かすことで、課全体のスキルを高める 【内部】スピード感をもった情報共有を意識し、報告・連絡・相談がしやすい職場環境を構築する。		危機感をもった職層間情報共有の意識づけ			1回/月 1on1ミーティング実施	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	教育施設課	高下 秀秋

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・児童生徒の学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの拠点であり、災害時には避難所としての役割を果たすことから、安心・安全な施設環境を整える。
- ・「宇部市学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の適切な維持、計画的な更新、社会情勢の変化に伴う教育内容の多様化等に対応した施設整備を推進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	安心・安全に学べる教育環境の整備と災害時における避難所機能の強化	その他	体育館空調設置済の学校数(校)	36校 (R15年度)	—	基本設計	未来1
2	老朽化した学校施設における中長期的な維持・更新に係るコストの縮減と平準化を図りながら安心・安全な施設整備を計画的に実施	個別計画 (公共施設等総合管理計画)	学校施設長寿命化計画の改定	36校 (R27年度)	—	計画の改定	—
3	安心・安全に学べる教育環境の確保と省エネ化による環境負荷の軽減	その他	LED化済の学校数(校)	36校 (R9年度)	4校	10校	—
人財育成・内部統制	【人財】課の特性を生かし、技術職は予算、事務職は建築に関するスキルや知識の向上を図れるよう、実際の業務の中で経験を積むことができる機会を提供する。 【内部】一人ひとりが職務に対する危機管理意識を高めるため、定期的に内部統制のミス事案報告一覧を確認し、課内で共有する。		【人財】: 随時 【内部】: 年12回(月1回)			— 12回	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	学校教育課	叶屋 良太

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・市の「SDGs未来都市」「先導的共生社会ホストタウン」の取組を踏まえ、本市教育の基本理念である『「自立」と「共存同栄」宇部を愛し、未来を拓くひとづくり』のもと、「子どもたちの夢・希望の実現に向けた学びと社会の変化に対応した教育を推進する」という基本目標の達成を目指す。
- ・子どもたちの確かな学力を育む教育の推進、社会の変化に対応した教育の推進、豊かな心を育み郷土を大切にする教育の推進に取り組み、学校教育の充実を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	意欲をもって学び続け、夢や希望の実現に向け、生きる力の根幹となる確かな学力を身につけた児童生徒の増加	前期実計	全国学力・学習状況調査の結果 (全国正答率を 100 とした場合の本市の指標)	(小)102.0 以上 (中)102.0 以上 (R8)	(小)97.7 (中)97.6	(小)101 (中)102	未来3
2	就きたい職業や夢を見つけ、実現に向けてチャレンジする児童生徒の増加	前期実計	なりたい職業や就きたい仕事がある生徒の割合(%)	55% (R8)	52.7%	53%	未来3
3	英語力を活かして、社会で活躍していこうと思う児童生徒の増加	前期実計	英検 3 級程度以上の英語力を身に付けた生徒の割合(%)	59% (R8)	54.60%	58%	未来3
4	将来も宇部市に住み続けたり、関わったりしていきたいと考える児童生徒の増加	前期実計	地域の様子やできごとに関心がある児童生徒の割合(%)	(小)38.0% (中)25.0% (R8)	(小)26.7% (中)22.3%	(小)36.0% (中)23.0%	—
5	読書への関心や意欲をもち、生涯にわたる読書週間を身につけた児童生徒の増加	前期実計	1か月の平均読書量(冊)	(小)6.5 冊 (中)3.5 冊 (R8)	(小)5.5 冊 (中)2.8冊	(小)6.0 冊 (中)3.0 冊	—
人財育成・内部統制	【人財】職員及び指導主事が専門知識とスキルを習得できるようOJTの取組を強化する。 【内部】一人ひとりが職務に対する危機管理意識を高め、課全体で問題予防策を共有し、業務遂行の精度を高め、品質を向上させる。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	教育支援課	藤井 伸

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・すべての児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう教育環境を整える。
- ・特別な支援を必要とする児童生徒の状況を確認しながら、1人ひとりの特性に応じた学習支援を行う。
- ・いじめや問題行動、不登校に対しては、児童生徒や保護者に寄り添いながら、学校や専門家、子ども・福祉の担当部署、民間支援団体等と連携し、早期発見・早期対応を行う。
- ・地域で子どもを見守り育てるふれあい運動を推進し、青少年の健全育成と非行防止を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	子どもたちの多様な学びの機会(学校、校内ふれあい教室、ふれあい教室、民間教育機関)が保障され、社会的な自立につながる力が育まれている。	個別計画 (教育振興基本計画)	1,000人あたりの 不登校児童生徒数	全国数値より 5以上 下回る (R8)	34.2(市) 37.2(全国) 〔数値はR5 R6は10月公表〕	全国数値より 5以上 下回る	未来3
2	特別な支援を必要とする児童生徒が、1人ひとりの課題に応じた適切な指導を受けることにより、社会的な自立に向けて安心して学べる環境となっている。	前期実計	1人ひとりの状況に応じた 支援体制を整える	1人ひとりの状況に応じた支援 体制を整える	1人ひとりの状況に応じた支援 体制を整える	1人ひとりの状況に応じた支援 体制を整える	未来3
3	いじめの早期発見・早期対応・早期解消により、児童生徒が安心して学校で学べる環境となっている。	前期実計	認知したいじめの 解消率(%)	100% (R8)	99.0% 〔数値はR5 R6は10月公表〕	100%	未来3
4	地域全体で子どもを見守り育てるふれあい運動等の推進により、青少年の規範意識が向上し、児童生徒がトラブルの被害者・加害者にならない暮らしやすい社会が実現している。	個別計画 (教育振興基本計画)	刑法犯少年(小中学生)の 人数	0人 (R8)	14人	2人	未来3
人財育成・内部統制	【人財】 学校安心係と特別支援教育推進係の両係での協力体制を整える 【内部】 課内一人ひとりが職務に対する危機管理意識を高め、問題予防策を共有し、業務遂行の精度を高める。						

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	社会教育課	林 健二

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・コミュニティ・スクールの仕組みを生かした「地域とともにある学校づくり」と、家庭・地域も当事者としてかかわる地域学校協働活動を通した「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進に向けて取り組む。
- ・各地区の社会教育推進委員会（地域学校協働本部）及び地域学校協働活動推進員の活動を支援し、地域における社会教育活動の促進を図る。
- ・山口大学やJAXA等と連携し、宇宙教育を推進することによって、将来のイノベーション人材の育成を図る。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと（アウトカム）	関連計画	目標指標（単位）	最終目標値	R6実績（見込）	R7目標値	未来PJ
1	宇宙への興味・関心が高まり、科学技術に興味を持つ子どもの増加	前期実計	宇宙教育関連講座等の参加者数（人）	4,700人 （R8）	4,542人	4,600人	未来3
2	子どもたちの自己有用感の形成、地域に対する愛着・貢献意識の向上	その他	地域行事に参加する児童生徒の割合（％）	小学 70% 中学 60% （R8）	小学 62.2% 中学 53.0%	小学 65% 中学 55%	－
3	地域で主体的に行動できる人材の増加	前期実計	地域学校協働本部（社会教育推進委員会）活動の参加委員数（人）	1,000人 （R8）	679人	800人	－
人財育成・内部統制	【人財】専門知識やスキル習得を促進するOJTの取組強化 【内部】職務への危機管理意識の向上、組織的な問題予防策の共有、業務遂行の精度・品質の向上	その他	各種実務研修の受講者数（人）【累計】	2人 （R8）	－	1人	－

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	人権教育課	吉田和弘

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・SDGs未来都市、共生社会ホストタウンとして、誰もが生き生きと暮らせる社会を実現するため、本市の市民宣言にうたわれている「人間が尊重される都市づくり」をめざし、市民一人ひとりがお互いの立場、人権を尊重した差別のない思いやりのある地域社会を形成するための人権教育を行う。
- ・「宇部市人権教育・啓発推進指針」に基づき、社会問題となっているインターネット上での誹謗・中傷をはじめ、子どもや障がい者、外国人に関する問題等について人権学習を推進し、市民の理解を深める。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	差別のない社会の実現とすべての人の人権が保障される社会の実現	前期実計	社会人権教育において学習会に参加した人数(人) (R8)	11,000人	10,200人	10,600人	—
2	差別のない社会の実現とすべての人の人権が保障される社会の実現	前期実計	学校人権教育において学習会に参加した人数(人) (R8)	24,000人	23,200人	23,600人	—
人財育成・内部統制	【人財】 人権学習会等の人権教育の機会において講師等として参画することにより、当課職員の人権意識をさらに高める。 【内部】 学校、地域や企業等あらゆる場面において発生し得る人権侵害に関わる事象に対して迅速に対応できるよう、常に情報共有を図る。		【人財】 参画する人権教育の機会(最低1回) 【内部】 朝礼(毎日)、課内会議(月1回)、随時	—	—	—	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	学校給食課	岡田 伊都子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・ 宇部市の子どもたちの健やかな成長のため、安心安全な学校給食を提供する。
- ・ 学校給食を将来に渡って継続して提供するために、調理場施設の整備や集約など効率的な運営を推進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	安心安全な学校給食の継続的・安定的な提供	個別計画 (公共施設等個別 施設計画)	給食施設の整備 調理体制の維持	持続可能な給 食運営体制の 構築	安全で衛生的 な給食施設・調 理体制の維持	安全で衛生的 な給食施設・調 理体制の維持	未来3
2	物価高騰下においても栄養バランスや量を保った学校給食の提供	その他	栄養バランスや量を保った 学校給食を提供するため、 食材費上昇分を公費負担	栄養バランスや 量を保った学校 給食の提供	公費負担 (30円/食) 児童生徒 11,204人	公費負担 (50円/食) 児童生徒 11,101人	—
人財育 成・内 部統制	【人財】困難な事例に関して、1人で判断せず、協議・相談をすることで業 務への理解を深める。 【内部】業務委託契約及び歳入・歳出財務の適正な事務の執行		事務の執行の根拠となる 法令等を理解するととも に、見落としなど単純なミス をしない。	適正な事務の 執行	—	決裁を上げる 前に再度確認 をする。	

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	学びの森くすのき・地域文化交流課	植野 麗子

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・ UBE読書のまちづくりを推進するとともに、本市の歴史文化を発信していくため、学習文化活動とにぎわいと交流の場である「学びの森くすのき図書館・博物館」を管理運営する。
- ・ 本市固有の歴史や文化財、伝統文化を保存・活用し、ふるさとを愛する心を育むことを目的とした教育普及活動の推進のため、文化財保護事業(保存と活用)を実施する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	読書活動や生涯学習活動の活発化	前期実計	学びの森くすのき来館者数 63,000(人／年)	70,000人 (R8)	67,156人	68,500人	—
2	文化財に対する意識の向上や郷土愛の醸成	その他	小学校での出前講座回数 (回／年)	8回 (R8)	2回	6回	—
人財育成・内部統制	職員一人ひとりが担当職務についての必要性や課題について考え、問題点の克服の意識を高め、責任をもって専門的な業務に取り組むとともに、図書館・博物館の事業のコンテンツに職員がもつ知識や技能を活用したアイデア・企画を取り込み、専門職員としての技能の向上を図る。		活用したイベント数	10企画 (R10)		2企画	

課 方 針 書

年度	課名	館長名
R7	図書館	水津 正実

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

- ・生涯学習の拠点施設として、図書館サービスの充実や情報発信力の強化を図り、利用者拡大に取り組む。
- ・ICTを活用した情報の収集・発信・サービスの提供等に取り組み、いつでもどこでも気軽に読書できる環境を整備する。
- ・開館から33年を経過した図書館について、利用者のニーズを踏まえ、設備面と機能・サービス面の両面から、誰からも愛され役に立つ図書館へリニューアルする。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	【UBE読書のまちづくりの推進】 読書のまちづくりの拠点施設として、図書館サービスと機能の向上を図り、「市民の誰からも愛され、役に立つ図書館」となる。	個別計画 (図書館リニューアル基本計画)	図書館のリニューアル	図書館リ ニューアル (R10)	基本設計	実施設計	—
2	【図書館サービスの充実・利用の促進】 生涯学習及び読書活動推進の拠点施設として、人づくりや中心市街地のにぎわいを創出することができる。	前期実計	図書館来館者数(人)	417,000人 (R8)	324,382人	390,000人	—
3	【子どもの読書活動の推進】 読書の楽しみを知ることにより、子どもの心を豊かにし、人生をより深く生きる力を身につけることができる。	個別計画 (子どもの読書活動推進計画)	子どもの1人当たり児童図書貸出冊数(冊)	35.0冊 (R8)	24.2冊	31.9冊	—
人財育成・内部統制	一人ひとりが職務に対する危機管理意識を高め、組織として、問題予防策を共有し、業務遂行の精度を高め、品質を向上させる。		職員がカスタマーハラスメントに不安を感じることなく業務に専念できる	市民ニーズにしっかりと対応できる	—	リファレンスなど本来の業務に専念できる	—